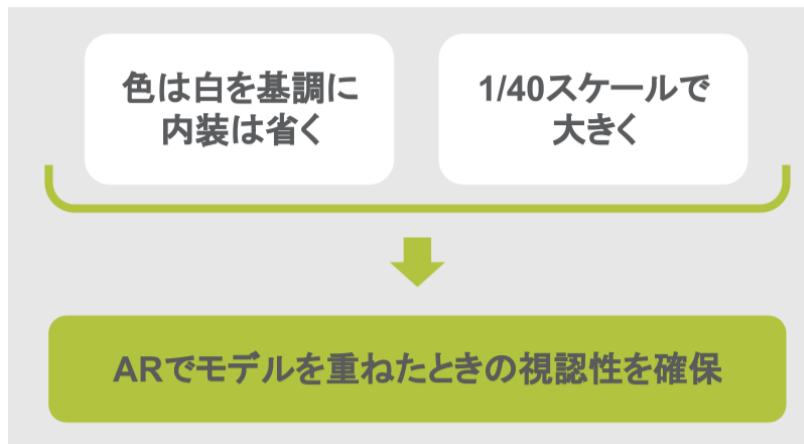


模型で見る未来大

未来大の特徴的な場所を約1/40スケールで模型化しました。
プレゼンテーションベイ アトリエ 情報ライブラリー 工房
デルタビスタ 講堂の6つを制作しました。

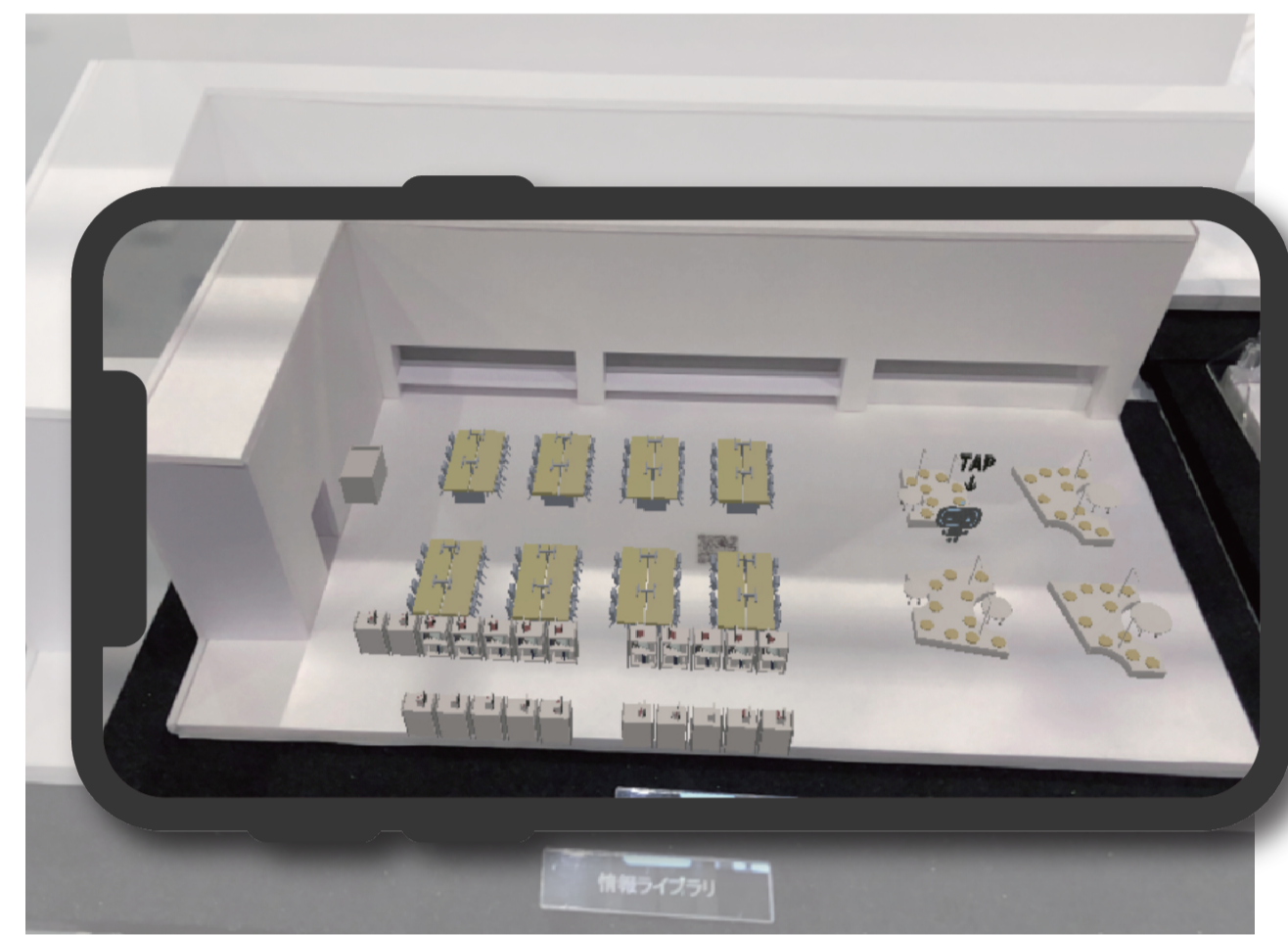
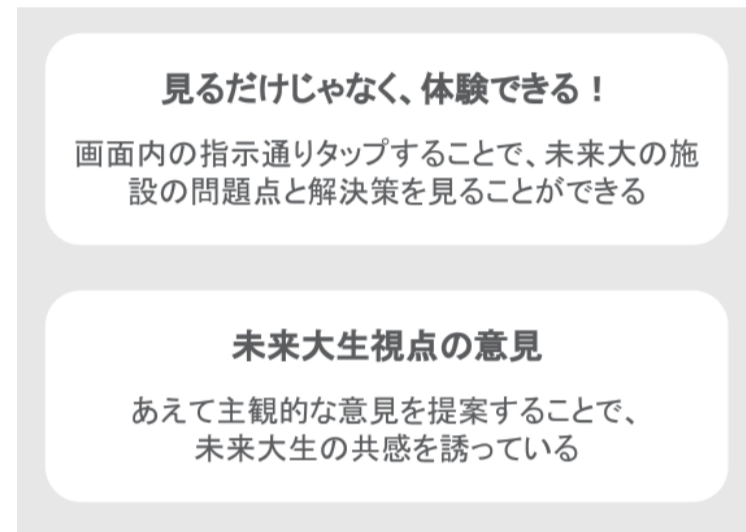
成果物を制作する際の工夫点として、ARでモデルを表示したときの視認性を重視し、色は白を基調とし、内装は省略、大きさは当初の予定より大きく40分の1に設定しました。



模型に重ねるAR

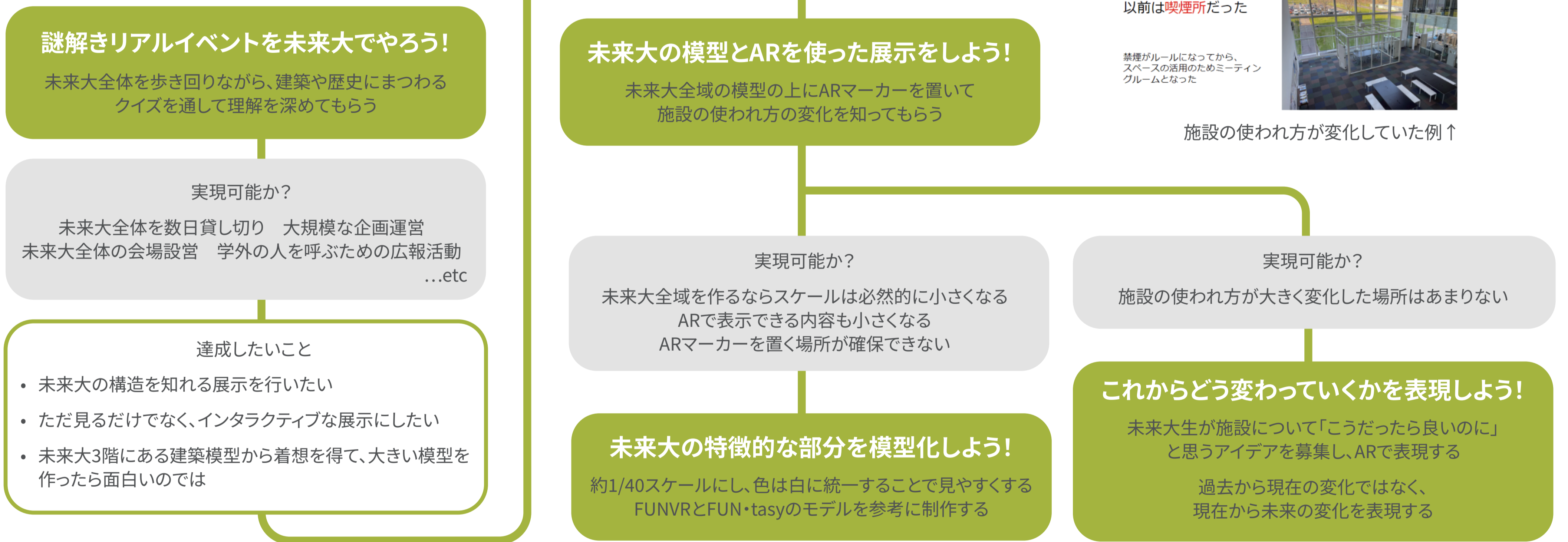
未来大の「こうなってほしい」という部分をARで表現しました。
模型上のQRコードを読み取り、模型の上にARを重ねて表示します。

見るだけでなく、体験できるという点です。これにより、インタラクティブな展示を実現しました。また「アトリエにスクリーンがほしい」などの学生の主観的な意見を提案することで、未来大生の共感を誘っています。



制作過程

未来大に来てもらえば、未来大の魅力を知ってもらえるのでは？



目標の達成度

未来大の歴史については表現できなかったが、未来大の構造と、空間をより素晴らしくする方法を表現できた

模型とARを活用することで、体験的に学んでもらい、触発を促すことができた

反省点

何をしたいかが明確ではなかったため、計画がぶれていった
→具体的なアイデアを固めるために、ブレインストーミングやKJ法などを活用すべきだった

決定を急ぎすぎて、調査不足のまま実現不可能なテーマ設定をしていた
→実現可能なことから考えていくべきだった

今後の展望

模型の今後

学内に置かせていただき、多くの人に未来大の校舎の構造を知って、見てもらいたい

ARの今後

ARで表示した未来大生が感じる未来大の課題が少しでも反映し改善されてほしい